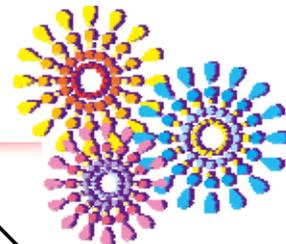




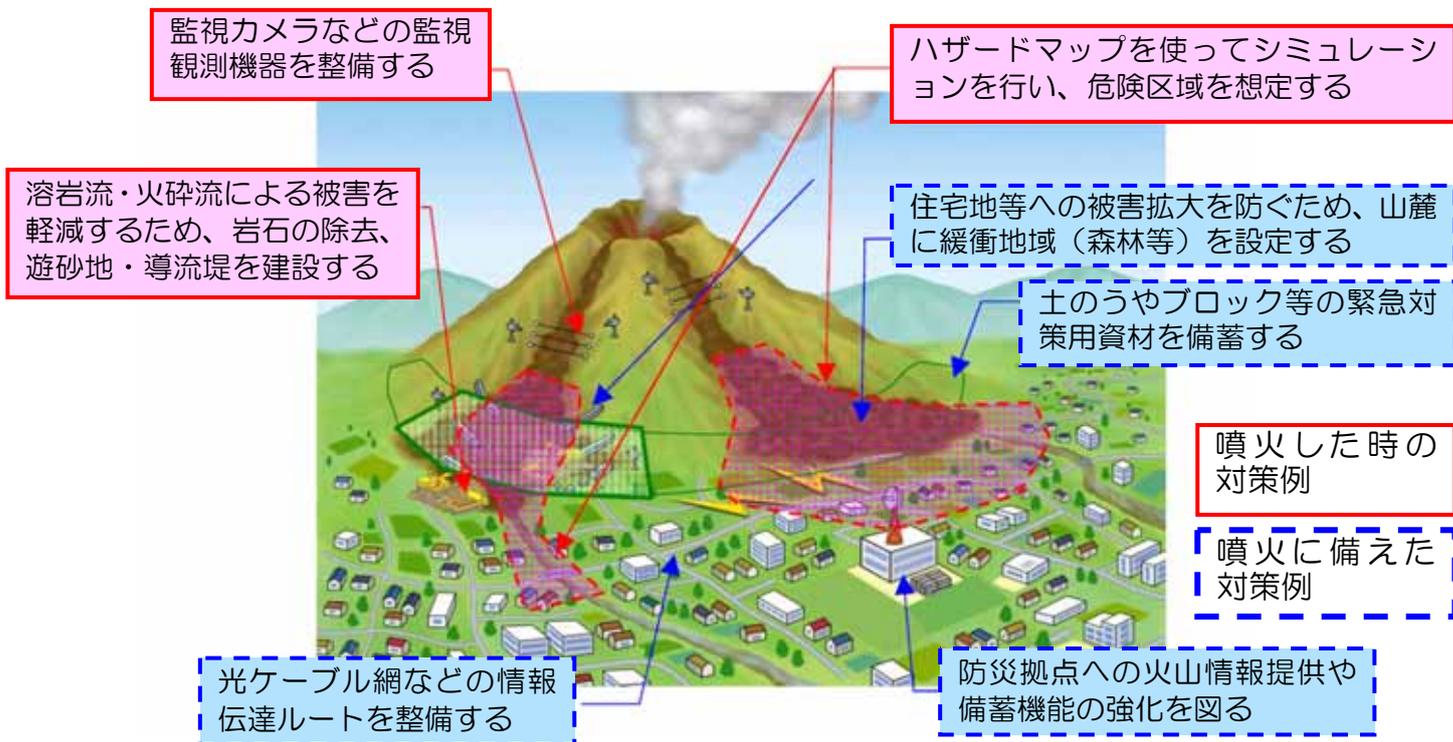
御嶽山 火山防災だより



◆ 行政が進めている火山防災対策ってどんなもの？ ◇◆◆

もし御嶽山で火山噴火が起こった時、地域住民の方や登山者等の観光客の方に対する被害を少しでも軽減できないかと、平成 21 年度より『御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画』について、関係する行政機関が一緒になって検討を進めています。

この計画は、「噴火に備えた対策」と「噴火した時の対策」について必要となることを決めておき、万が一噴火したときに生じる被害を出来るだけ軽減（減災）させる事を目的としています。

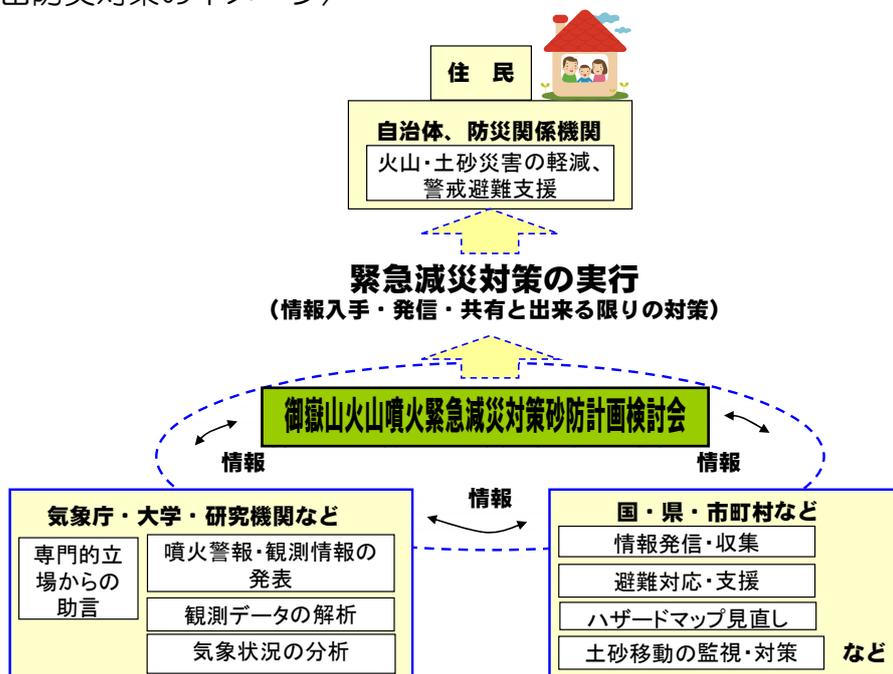


〈火山防災対策のイメージ〉

検討会・ワーキンググループ

緊急減災対策砂防計画を策定するにあたり、検討会・ワーキンググループ（作業部会）を立ち上げ、有識者の意見を参考に、関係する行政機関が協議しています。今年度の検討会・ワーキンググループは全 5 回（検討会：2 回、ワーキンググループ：3 回）の開催を予定しています。

メンバーは、有識者の方々、国、関連する市町村の防災関係等の代表が集まり、検討を進めています。



〈御嶽山における火山防災が目指すイメージ〉



◆ 第3回 ワーキンググループ を開催しました ◆

平成 22 年 7 月 21 日 (水) 多治見市内にて

第3回ワーキンググループでは、これまでの経緯及び今年度の検討方針についての説明があった後、予想される噴火現象の影響範囲予測や緊急減災対策の検討についての討論を行いました。

ワーキンググループ委員の間で、活発な意見交換が行われました。



〈会議風景〉

検討会・ワーキンググループ メンバー

〈参加機関〉

王滝村、木曾町、高山市、下呂市、長野県、岐阜県
農林水産省林野庁、国土交通省気象庁・中部地方整備局・多治見砂防国道事務所

〈有識者〉

信州大学農学部	平松晋也
信州大学理学部	三宅康幸
岐阜大学応用生物科学部	木村正信
名古屋大学地震火山・防災研究センター	木股文昭
三重大学生物資源学研究科	山田 孝
産業技術総合研究所	及川輝樹

検討内容

準備段階	関係資料の収集・整理 航空レーザーによる精密地形測量 地形特性の把握
基本となる事項の調査整理段階	御嶽山周辺の社会環境の調査 過去の噴火を把握する地質調査 斜面、溪流の荒廃状況把握調査 大規模崩壊予測方法の検討 噴火影響範囲予測方法の検討
計画検討段階	火山活動の経時変化パターンの検討 噴火による影響範囲と被害の想定 噴火時対策の基本方針の検討 噴火時に緊急的に行う調査内容の検討 噴火時に緊急的に行う対策工事等の検討 噴火時に緊急的に行う避難体制等の検討
	平常時から準備すべき事項の検討 御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画の素案作成
御嶽山火山噴火緊急減災対策砂防計画(案)のとりまとめ	

今回検討した範囲

ひとこと



平松先生※
(検討会座長)

検討会とワーキングには各関係機関より専門家の方々が多数参加されており、立派な計画が策定されることになると

思います。しかしながら、どんなに計画が立派であっても、それが地域に十分フィードバックされなければ意味がありません。この減災対策(案)を有効に活用していくためには、行政と地域のみなさんとの情報や意識の共有は言うに及ばず、まずは地域住民の方々が御嶽山について関心を持ち、地域が主体となった御嶽山周辺地域全体の防災力向上に向けた取り組みが不可欠となります。計画に魂を入れるのは、地域の皆さん方なのです！

(※信州大学農学部教授)

御嶽山のめぐみ ②

7月中旬～8月中旬にかけて登山客がたくさん訪れます。また、御嶽山は信仰の山としても知られており、8月には山頂で大御神火祭が行われます。



◆ 次号の内容 ◆

もし噴火が起きたら・・・
噴火の大きさはどのくらいか？
どんな現象が起きるのか？



※ 10月発行予定

国土交通省 中部地方整備局 多治見砂防国道事務所
〒507-0023

岐阜県多治見市小田町 4-8-6
砂防調査課

TEL : 0572-25-8020 (代表)

FAX : 0572-25-7994

USL : <http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>

E-mail : tajimi@cbr.mlit.go.jp



協力：王滝村・木曾町・高山市・下呂市・長野県・岐阜県